

WDC-GMIV Basic ジャッジ基準

- * 1つでも出来ないポジションがあれば、不合格となります。
- * コース上の左右に合計4つの妨害(おやつやおもちゃ)がおいてある状態で全てを行う。
- * 普段と同じ通りにモチを使用しても可能。
- * 褒めた後にポジションが変わらない様に (つまり、次の号令がかかるまでは前の状態のまま)

- * 以下の場合は、減点となります。
- * 減点方式でのジャッジとなり、減点が20(80点)までは合格となります。
(減点10→90点)

◆リード付・ノーリード 共通

	ポジション	姿勢	その他の減点対象
Heel	30cm以内	前傾	離れる毎に減点1がカウントされます。 妨害に足しての対処、妨害に犬が触れた場合
Sit	30cm以内 ハンドラーに対して平行でなくてはならない 前足はハンドラーのつま先より前に出ないように (ただし、Downは肘か首がつま先より前にでていなければ良い)	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った * 30cm以上離れている場合は、 出来ていないとみなし不合格となるため、 やり直しを行ってもかまわないが、減点となる。
Down			
Stand			
Stay	ポジションは自由選択。 Downで後ろ足が崩れるなどは問題視しない		予防の号令、動いた回数(犬・人ともに)。 ただし、減点数が6に達した時点で、不合格。
Come	Stayの位置から直線上を来なければならない	前傾	号令が2回以上、反応が遅い まっすぐ来ない場合に対処を行った
前面Sit	30cm以内。 ハンドラーの直線上で、お尻が左右に振れてはならない	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った
6の字	30cm以内	前傾	号令が2回以上、反応が遅い

WDC-GMIV Basic ジャッジ基準

2/2

◆特殊（行進中）

	ポジション	姿勢	その他の減点対象
Sit	ポジションは当日指定となります Downの尻落ちは問題視しない ポジションは次の号令までキープすること	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った 呼び込む前に動く 妨害への対処、妨害に犬が触れた場合
Down			
Stand			
呼び込み	30cm以内。 呼び込んだ際のポジションも当日指定となります ポジションのジャッジ基準はBasicと同様	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った 妨害への対処、妨害に犬が触れた場合

◆特殊（遠隔前進7m・遠隔操作・Come中）

	ポジション	姿勢	その他の減点対象
前進	まっすぐ行かない ポイントは行ってよいが、ポイントの最中に動いた場合は 元の位置からのやり直しとなり、減点になります	前傾	号令が2回以上、反応が遅い コースを外れないための対処を行った 妨害への対処、妨害に犬が触れた場合
遠隔操作	ポジションの順番は自由選択となりますが、 必ず、Sit・Down・Standを行なわなければならない 例) Sit→Down→Stand、Down→Stand→Sit 各ポジションは1秒以上キープすること	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った 呼び込む前、次の号令前に動いたら減点となります。
Come中	ポジションは当日指定 Downでの尻落ちは問題視しない	前傾	号令が2回以上、反応が遅い ポジションを直すために対処を行った 妨害への対処、妨害に犬が触れた場合 *真ん中よりハンドラー寄りでのポジショニングは、 出来ていないとみなし不合格となるため、 やり直しを行ってもかまわないが、減点となる。